

総合科学技術会議 基本政策専門調査会

基本資料集

平成16年12月20日

未定稿

目次:

Page 1	科学技術政策の歩み
2	第1期科学技術基本計画のポイント
3	第2期科学技術基本計画のポイント①
4	第2期科学技術基本計画のポイント②
5	平成17年度科学技術関係予算の改革
6	科学技術を巡る諸情勢の変化
7	(参考)●我が国の人口構成の変化
8	我が国の科学技術力① - 論文発表および特許出願ランキング -
9	我が国の科学技術力② - 論文の質的变化 -
10	研究開発投資の拡充
11	科学技術の戦略的重点化
12	基礎研究の推進 -ビッグサイエンスとスモールサイエンスのバランス-
13	研究開発投資の重点化
14	(参考)●戦略的重点化についての有識者アンケート結果
15	科学技術システム改革
16	人材の流動化、外国人・女性研究者等
17	評価システムの改革
18	産学官連携の本格化
19	経済活性化施策の推進
20	研究開発費の組織別、性格別内訳
21	社会・国民から見た科学技術①
22	社会・国民から見た科学技術②

科学技術政策の歩み

基本法以前

1995年(平成7年) 科学技術基本法の制定

1996年～2000年 第1期科学技術基本計画

・5カ年 17兆円(実績17.6兆円)

2001年(平成13年) 省庁再編成—総合科学技術会議発足

《総合科学技術会議の使命》

- ・総理のリーダーシップの下、科学技術政策推進の司令塔
- ・各省間の縦割りを排し、先見性と機動性を持った運営
- ・世界に開かれた視点、人文社会科学とも融合した「知恵の場」
- ・科学技術の両面性に配慮、科学技術に関する倫理の確立

2001年～2005年 第2期科学技術基本計画

・5カ年 24兆円

・「重点化」と「システム改革」

第1期科学技術基本計画のポイント

科学技術基本法制定(平成7年)

第1期基本計画(平成8年度～12年度)
ポイント

政府研究開発投資の拡充

・21世紀初頭に対GDP比率で欧米主要国並に引き上げるとの考え方の下、計画期間内の科学技術関係経費の総額の規模は17兆円

新たな研究開発システムの構築 のための制度改革の推進

- ・任期制の導入等、研究者の流動性を高め研究開発活動を活性化
- ・ポスドク1万人計画の実現
- ・産学官交流の活発化
- ・厳正な評価の実施

第1期基本計画の成果
(第2期基本計画において分析)

- ・競争的資金倍増
(H7:1,248億円→H12:2,968億円)
- ・ポスドク1万人実現
- ・研究開発評価を本格導入
- ・共同研究の増加
(H7:1,704件→H12:4,029件。2.36倍に)
- ・厳しい財政下17.6兆円の科学技術関係経費を確保
(欧米主要国では対GDP比率の低下傾向が継続するも我が国は着実に増加)

第2期科学技術基本計画のポイント①

科学技術創造立国として目指すべき国の姿と科学技術政策の理念

科学技術を巡る情勢

20世紀の総括

科学技術の目覚ましい進歩

- ・豊かで便利な生活・長寿
- ・社会や地球環境への負の影響

21世紀の展望

科学技術は社会の持続的発展の牽引車、人類の未来を切り拓く力。

- ・産業競争力、雇用創出、質の高い国民生活(高齢化・情報化・循環型社会)
- ・人口問題、水・食料・資源エネルギー、温暖化、感染症 等
- 地球規模問題への対応、国際貢献

目指すべき国の姿

「**知の創造と活用により世界に貢献できる国**」

—新しい知の創造—

(ノーベル賞受賞者50年で30人)

「**国際競争力があり持続的発展ができる国**」

—知による活力の創出—

「**安心・安全で質の高い生活のできる国**」

—知による豊かな社会の創生—

科学技術政策の総合性と戦略性

科学技術と人間、社会の関係
科学技術の正負両面性

を総合的、俯瞰的にとらえる

- 自然科学、人文社会科学の総合化
- 社会のための、社会の中の科学技術

科学技術の振興は未来への先行投資

- 知の創出と人材の育成
- 研究成果が速やかに社会と産業に還元され、次の投資に繋がるダイナミックな循環

科学技術振興のための基本的考え方

基本方針

研究開発投資の効果を向上させるための重点的な資源配分

世界水準の優れた成果の出る仕組みの追求と、そのための基盤への投資の拡充

科学技術の成果の社会への還元の徹底

科学技術活動の国際化

政府の投資の拡充と効果的・効率的な資源配分

- 政府研究開発投資の総額24兆円(前提: 対GDP比1%、GDP名目成長率3.5%)
- 毎年度の投資は、財政事情等を勘案し、研究システム改革や財源確保の動向等を踏まえて検討
- 研究開発投資の重点化・効率化・透明化を徹底し、研究開発の質を向上